

平成26年度 下半期の環境監視調査結果について

水質調査の結果は、管理目標値を満足していた。また、陸生・海生生物については、過去の調査結果と比較しても顕著な変化は見られていない。

項目		調査時期	調査結果概要			
水質	陸域工事排水の水質	10月3日 11月6日 12月4日 1月8日 2月5日 3月5日	管理目標値内であった。			—
			項目	調査結果	管理目標値	
			水素イオン濃度	6.9～7.2	5.0以上9.0以下	
			浮遊物質 (日平均値)	5mg/L 以下	150mg/L 以下	
陸生生物	ハヤブサ	2月25日 3月10, 24日	鼻線島にて、雌雄各1個体の生息・繁殖状況を確認した。 2月：雌が巣を出入りするのを確認。 3月：下旬に抱卵行動を確認。			写真1
海生生物	潮間帯生物	10月23, 24日	植物ではイシゲ、サビ亜科など25種、動物では、イボニシ、クロフジツボなど30種を確認した。			写真2
	海藻草類	10月23, 24日	クロメ、サビ亜科など32種を確認した。			
	底生生物	10月23, 24日	サザエやムラサキウニなど5種を確認した。			
	スナメリ	10月, 3月 (週1回・計8日)	確認回数は計4回、頭数は延べ6頭を確認した。			—
	カクメイ科等の貝類	11月5～7日 2月16～17日	カクメイ科の貝類は確認されなかった。 落石の危険性があるため、安全を考慮して、タイドプール※2箇所のうち1箇所で開催した。			—

※ タイドプール：干潮時に海辺の岩場にできる潮だまり

【参考】その他の環境調査結果

○カラスバト

計画地点では姿・鳴声とも確認はなかった。

なお、鼻線島において10月、1月に鳴声および、姿を確認。11月、2月、3月に姿を確認した(写真3)。

○カンムリウミスズメ

1月に延べ6個体(鼻線島の西、祝島の北東)を確認した(写真4)。

【調査写真】

写真1:ハヤブサ(2月25日)



写真2:海生生物(10月23, 24日)



イシゲ



サビ亜科



クロフジツボ



イボニシ



クロメ



ムラサキウニ



サザエ

写真3:カラスバト



(10月29日 鼻線島)

写真4:カンムリウミスズメ



(1月8日 鼻線島の西)

以上